



【校訓】 元気よく 仲よく 力いっぱい

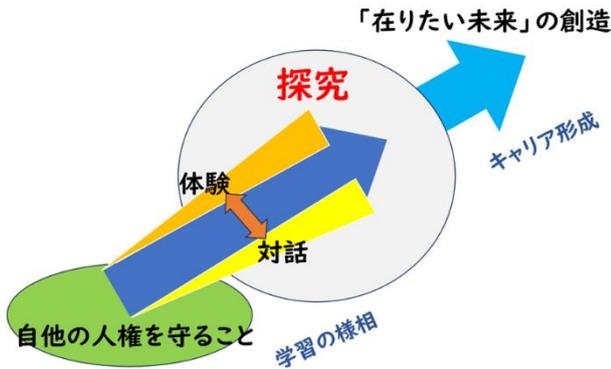
第1号 令和7年4月8日 発行

ご入学、ご進級おめでとうございます！

ご入学、ご進級、おめでとうございます。令和7年度は、57名の新1年生を迎え、全校生351名での出発です。私は、平成8年度から平成15年度まで本校に勤務していました。どんぐり広場からわんぱく希望の丘に続く桜並木を歩いていると、当時の学習が蘇ってきます。ヤッホの森が整備され、黍田富士の頂上から見た最高の景色、今のテレビ電話へと発展したテレビ会議システムを使い国内外とつないだオンライン学習、生き生きタイム（健康教育の推進：校長室前の芝生にある記念碑）、そして「ゆめクラブ（人権交流推進事業）」が始まったのも当時でした。

さて、揖保川文化センターのある場所から現在の本校立地場所に移転した時から大切にされたことは、「豊かな自然を活かした子ども中心の教育活動」です。令和になった現在、改めて重視される考え方でもあります。それを当時から大切にしていたのが本校であり、学校運営の支えとなる地域の皆様の思いだと認識しています。

自他の人権を守り、対話と体験を軸に探究しながら、
「在りたい未来」を創造する子どもの育成



そこで、これまでの本校が大切にしてきた不易の考え方（「子ども中心の教育活動」、「対話と体験の重視」、そして「人権教育の推進」と、これからの教育活動に求められる考え方（子ども一人一人の学びを重視すること、教えられる学習から自ら学ぶ探究的な学習への転換など）を関連付けて、学校教育目標を、

自他の人権を守り、対話と体験を軸に探究しながら、
「在りたい未来」を創造する子どもの育成

としました。左の図がそのイメージモデルです。自他の人権が守られることにより、子どもたちにとって学校は安心できる居場所となります。昨年度より設置された校内サポートルーム（不登校支援 通称：にこにこルーム）もその重要な役割を担います。そして、本校の自慢の一つである豊かな自然環境を活かした直接体験を通して、子どもたちは、友だち、先生、そして地域の皆様など様々な人と対話をしながら、探究的な学習活動を展開し、夢や希望を育みながら「在りたい未来」を創造できる子どもを育てていきたいと思ひます。

教職員一同、「チーム神部小」として、一歩ずつ歩みを進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

★異動教職員を紹介します。

【転出】

個人名記載

【転入】

個人名記載

令和7年度の教職員組織

個人名記載

4月のおもな予定

- 8日(火)着任式、始業式、PTA投票用紙配布(2~6年)
9日(水)入学式、PTA投票用紙配布(1年)
PTA投票用紙開票、揖保川中入学式
10日(木)地区児童会、6年身体測定、一斉下校
11日(金)5年身体測定 ☆教職員定時退勤日
14日(月)給食開始、1・2年身体測定
15日(火)支援学級開級式、3・4年身体測定
PTA役員会・新旧本部正副部長会
16日(水)家庭訪問①、5年聴力検査
17日(木)家庭訪問②、全国学力学習状況調査(6年)
1年心電図
18日(金)家庭訪問③、3年聴力検査、移動図書館
☆教職員定時退勤日
21日(月)2年聴力検査
22日(火)1年聴力検査
23日(水)6年視力検査、交通安全教室(1・4年)
24日(木)1・3・5年耳鼻科検診、尿検査①、委員会活動
25日(金)授業参観(引き渡し訓練)、尿検査②、
PTA総会(書面)、☆教職員定時退勤日
28日(月)5年視力検査
30日(水)4年視力検査
4年色覚検査



学級担任制から学年(チーム)担任制に向けて

昨年度より、一人で学級担任を務める従来の学級担任制から、学年で子どもたちを支援する学年(チーム)担任制に向けた話し合いを進めてきました。

令和7年度は、学年に応じて、教科数は異なりますが、兵庫型教科担任制を活かしながら、複数の教員がチームを組み、子どもたちの学びの支援を行う予定です。年度末にメリットとデメリットを明らかにし、次年度(令和8年度)につないでいきます。ご理解、ご支援をお願いいたします。

